

「ウッドボックスづくりと寄せ植え講座」
 初心者にも簡単に作れる木製ボックスを作って、寄せ植えを楽しんでみませんか。
 日時 6月23日(金) 13時30分～15時
 会場 阿仁公民館
 講師 加藤 由美子氏
 定員 15人(先着順)

阿仁公民館公開講座
 阿仁公民館 ☎82・2220



「第3次北秋田市社会教育中期計画」の閲覧
 新しく策定した「第3次北秋田市社会教育中期計画(パンフレット版)」を、各公民館・図書館・各窓口センター等へ設置しました。地域住民同士が学び合い、協働する地域づくりに活かしましょう。
 ※部数が限られていますので、持ち帰りはご遠慮ください。

生涯学習課 ☎62・1130

学びの広場

地域で学び、活動する皆さんを応援します
 北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



学びを通じた協働による地域づくり

～第3次北秋田市社会教育中期計画～

昨年度、策定に向けて協議を進めていた「第3次北秋田市社会教育中期計画」が完成し、4月26日に北秋田市社会教育委員の伊東和子さんと策定部会・社会教育部会長の松岡誠三さんが三澤教育長への手交を行いました。

今回策定した中期計画は、今後5年間の生涯学習の在り方と、実施する重点施策を年次指標とともに示しており、わかりやすい計画書とすため、パンフレット版になっています。

この日は、松岡さんが策定までの経緯と計画の趣

旨を説明し、伊東さんが三澤教育長へ計画書のパンフレット版を手渡しました。



▲手交をする伊東さんと三澤教育長

地域全体で家庭教育を支援

～第1回家庭教育支援チーム会議～

今年度から新しく設置した「家庭教育支援チーム」の第1回チーム会議が、5月15日に市民ふれあいプラザで行われ、佐藤教育長からチーム員8人に委嘱状が交付されました。

家庭教育支援チームは、親の学びや育ちを応援するとともに、家庭と地域・学校をつなげ、地域全体で家庭教育を支援することを目的としています。

この日は、市の担当者から事業の説明を受けたほか、チーム内で健やかな子どもたちの育成を目指し、全ての親が安心して家庭教育を行うにはどうするべ

きかについて意見交換を行い、これから実施される事業の内容について確認しました。



▲佐藤教育長のあいさつに耳を傾けるチーム員

高齢者大学がスタート

～平成29年度森吉大学開講式～

各地区の高齢者大学は、森吉大学を皮切りに、高鷹大学、合川ことぶき大学、阿仁生き生き大学が今年度も開講し、学習活動をスタートしました。

このうち、森吉大学(庄司邦昭学長)の開講式は、4月28日に森吉コミュニティセンターで行われ、受講生を代表して、新入生の村上光秋さんが誓いの言葉を述べ、84人の元気な仲間とともに、新たな学習活動に取り組むことを誓い合いました。

開講式終了後、第1回講座として小坂和子さん(秋田こころのネットワーク会長)を講師に『看と

りからの学び』と題した講演が行われ、受講生たちは、真剣な表情で聴き入っていました。



▲北秋田市民歌を斉唱する学生一同

持ち物 土入れ用スコップ、手袋、ハサミ、新聞紙

参加費 1500円(材料代)

市内を花でいっぱい

花いっぱい運動推進協議会

今年も花の苗の販売を行います。地域の皆さんで市内を花いっぱいに彩りましょう。

場所 さかえフラワーセンター

種類・価格

▽マリゴールド(黄/オレンジ) 30円

▽サルビア(赤) 40円

▽アゲラタム 40円

事前申込 6月5日(月)～11日(日)

販売日時 6月17日(土)・18日(日)

午前5時30分～9時

※18日(日)は、事前申込みをしない方も購入することができますが、予定数量に達した時点で販売を終了しますので、できるだけ事前予約をお願いします。

※苗を入れるダンボールや箱等は各自で用意してください。

※事前申込用紙は、各公民館で配布しています。

☎63・0016(佐藤秀子)

ふるさとの文化財

「縄文時代編」

動物形石製品(漆下遺跡)

旧石器時代から再び縄文時代に戻り、出土品を紹介します。

写真は何らかの動物を模したと思われる石製品です。大きさは5～6cm程です。

比較的軟らかい砂岩の礫を削り磨いて形を整え、彫刻により頭部もしくは前半身を表現したものと考えられます。全体的に三角錐に近い形をしています。写真1は右側面、写真2は正面の写真です。

頭部と反対側(写真1の下側)は割れ面で文様が無く、後半身部分を欠損したのもかもしれませんが、写真1をみると中央部の大きな貫通孔が目につきますが、上側をみると、中央にある丸い右目、右端の鼻の孔と口の裂け目が分かります。右下の部分の部分は円く削りだされ、



写真1



写真2

2～3本の刻み目が施されています。右前脚でしようか。このほか、表面には、櫛掛けに似た文様が彫り込まれています。写真2をみると両目、鼻の孔が対になっている様子がよく分かります。耳などはつきりした表現はありません。

目の部分と丸味を持つて伸びた鼻の部分の境目には段差があり、明瞭に区別されています。鳥の嘴のようにも見えますが、丸味がある点から考えれば、嘴ではなく、毛色の違いや毛の短い鼻の周辺を表現したものと思われま。イヌ、クマ、モグラなどが候補に浮かびますがいかがでしょうか。

漆下遺跡ではツキノワグマを模したと思われる土製品(土偶)も見つかっています。この動物形石製品は現在、縄文館に展示中です。

▽紹介者/北秋田市教育委員会生涯学習課文化係